

学会誌『法と心理』編集委員会からのお知らせ

2017年4月28日

サブ特集『目撃証言の法と心理学 Part II』（『法と心理』編集委員会企画）の論文募集について

学会誌『法と心理』では、より積極的な論文投稿を促進させるために、サブ特集『目撃証言の法と心理学 Part II』として、引き続き、同テーマに関連する投稿論文を募集することにいたしました。これは、募集期間が短かったために、継続的に、論文を募集することにより一定の成果があるものとするためです。

目撃証言の研究は、法と心理学の分野において、もっとも長い研究の歴史があり、また、具体的な研究において、量と質の双方から、充実した研究が蓄積されていると思われます。そして、これまで裁判実務にも影響を与え、今日に至ってきました。法と心理学会においても、その先駆けとして数多くの研究が行われてきたテーマです。その研究意義は現在でも色あせることなく、目撃証言は、むしろ、より重要なテーマとなりつつあります。

そこで、同テーマに関わる論文について、広く公募という形で、学会会員だけではなく、非会員も含めて、投稿を求めていくことといたしました。『法と心理』という雑誌は、法と心理の両分野にまたがる雑誌だけに、投稿は、研究の可能性を広げるものと思われます。目撃証言について研究する、意欲ある会員・非会員からの意欲的な論文の投稿を、期待しています。また、「原著論文」には至らない「資料論文」あるいは「事例報告」も、同様に募集いたします。

締め切りは2018年1月5日です。

連絡先:『法と心理』編集委員会事務局
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150
立命館大学 若林宏輔
e-mail: submit@jslp.jp